研 究 業 績 覧

小 林 幸 夫

1. 『咄・雑談の伝承世界―近世説話の成立―』 (三弥井書店 平成8年6月)

『しげる言の葉―遊びごころの近世説話―』

.2

(三弥井書店 平成13年11月)

『説話と俳諧連歌の室町―歌と雑談の伝承世界―』 団法人芭蕉翁顕彰会 平成29年度(第71回)芭蕉祭文部大臣賞受賞 (三弥井書店 平成28年8月 伊賀市公益財

5. 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼―伝説・縁起・ハナシを尋ねる―』 『西行と伊勢の白大夫』 (三弥井書店 平成29年6月)

(三弥井書店 平成29年8月)

2. 『愛知県史 資料編35 近代12 文化』 (愛知県 平成24年3月) (淡交社 平成6年3月)

1. 『京都の伝説―丹波を歩く―』

1.「『竹斎』の方法」

(『日本文学の重層性』(桜楓社)所収 昭和55年4月)

2.「『仁勢物語』とかぶきの精神―業平像の変貌―」

「『浮世物語』の教化と諧謔性 (『立命館文学』43・48号 昭和56年9.10月)

(『日本文学 伝統と近代』(和泉書院)所収 昭和58年12月)

4. 「言葉の力ー狂歌咄とおどけ者―」(『枯野』6号 昭和63年7月)

5. 「咄と医師―翆竹道三の咄―」 (『説話と伝承者』(説話・伝承学 '8)平成元年4月)

6. 「茶の湯と雑談―近世軍記への視座―」 (『枯野』 7号 平成元年年11月)

7.「〈おどけ者〉一休像の形成

(『伝承文学研究』38号 平成2年7月)

8. 「一休「頓作」考―咄の生まれる場所―」

9. 「咄と振舞―定家俗伝抄―」(『立命館文学』58号 平成2年9月) (『立命館文学』55号 平成2年3月

10 「伝承の論理」

(『枯野』 8号 平成2年11月)

11 「狂歌咄西行論―茶数寄と歌数寄―」

(『日本文学の原風景』(三弥井書店)所収 平成3年12月)

12 「『好色一代男』と談林俳諧の精神―方法としてのはなし―」 (『枯野』9号 平成4年1月)

「『仁勢物語』と雑談の世界―振舞の座の発想―」

(『立命館文学』523号 平成4年3月)

「夜咄の俳諧―伽と百物語―

14

13

(『東海学園国語国文』 42号 平成4年10月)

15 「ことば遊びの文芸―秀句頓作と咄―」

(『東海学園国語国文』43号 平成5年3月)

『演劇』 36号 平成5年5月

18 「馬の頭の風流―祭礼と見世物と」

「酔狂する小町―秀句のあそび―」

(『枯野』10号 平成5年6月

17

16

《『東海学園女子短期大学紀要』28号 平成5年9月

19

「詩話と公案―饅頭の秀句―」

「〈はね字〉の遊び一聯句・連歌・咄― 《『東海学園国語国文』4号 平成5年10月)

《『東海学園国語国文』45号 平成6年3月)

「笑話の出版―連歌・俳諧・咄―

《『伝承文学研究』42号 平成6年5月

『東海学園国語国文』46号 平成6年11月

「西行狂歌咄論―歌徳説話と狂歌咄―」

《『東海学園国語国文』47号 平成7年3月

「漱石と諧謔の精神―江湖の処士 苦沙弥先生―

「『醒睡笑』の白髪天神説話から―咄の編集へ―」 (『漱石―作家の誕生―』 (世界思想社)所収 平成7年10月

(『東海学園国語国文』 48号 平成7年10月)

「笑話と座頭―言葉遊びの伝承―」

「渡唐天神の秀句―禅林の夢想天神説話― 《『東海学園国語国文』 49号 平成8年3月

《『伝承文学研究』45号 平成8年5月

「咄の編集―『醒睡笑』を中心に― 《『講座日本の伝承文学』第4

28

27

26

25

24

23

22

「霊照女掛絵と孝子譚

21

20

29 「『一休諸国物語』―典拠を有する俗伝―」(『国文学 解釈と鑑賞』 巻『散文文学「説話」の世界』(三弥井書店)所収 平成8年7月)

61巻8号 平成8年7月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』再収)

30 「連歌と馬頭夫人譚―長谷寺観音霊験のこと―」

(『立命館文学』52号 平成10年1月)

31

「伽と茶の湯―『醒睡笑』の成立―」

(『東海学園国語国文』51・52号 平成10年1月)

「開帳と見世物興行(1)」 (『東海学園国語国文』53号 平成10年3月)

32

「燈台鬼―連歌師と野馬台詩伝承―」

33 《『説話·伝承学』6号 平成10年4月)

34 期大学国文学科創設記念論文集』(和泉書院)所収 平成10年4月) 「長谷寺観音の両足―秀句と法楽―」 《『東海学園女子短

35 「長谷寺観音の古帳―『日本永代蔵』巻三の三について―」 《『東海近世』9号 平成10年4月)

36 「『清水寺参詣曼荼羅』の絵解き―三本卒塔婆の由来―

国文』55号 平成11年3月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』再収 (『東海学園国語

37 「「田村堂」の縁起語り―鈴鹿山の立烏帽子伝承 近世』10号 平成11年5月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』再収)

39 38 「大蛇の裔―鈴鹿山立烏帽子伝承と巫覡―」 所収 平成11年9月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』改題再収 本の伝承文学』第7巻『在地伝承の世界(東日本)』(三弥井書店)

「願人坊の話芸―〈化け物寺〉の昔話―」 (『伝承文学研究』49号 平成11年9月)

「龍宮童子と天人女房―天橋立と聖地の物語―」

40

『東海学園国語国文』57号 平成12年3月)

「宗祇の髭―宗祇肖像賛と歌徳説話―」

41

「民話と近世文学」

(『東海近世』11号 平成12年5月)

42

(日本日孝文芸学会編『シリース ことはの世界』第3巻『にたす』	文化』 3号 平成15年15月 『訪記と俳諧連歌の室町』 改題再収)
6 一等してでは、1000年間で、1000年間であった。『はなー』	_
・「笑いとエヨの文学」	
承文学研究』55号 平成19年5月 『西行と伊勢の白大夫』再収)	平成15年9月号 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』改題再収)
65.「伊勢の西行説話―西行追慕のかたち―」	52. 「咄・遊び・挿絵」 (『国文学―解釈と教材の研究―』
學近世文学』13号 平成19年3月『説話と俳諧連歌の室町』再収)	究と資料』31号 平成15年7月 『説話と俳諧連歌の室町』再収)
6.「祈祷連歌説話の誕生―長柄橋柱文台の説話―」 (『國學院大	51. 「餅の歌―「和尚と小僧」譚の一流―」 (『昔話―研
文学・文化』6号 平成19年3月 『西行と伊勢の白大夫』再収)	文化』2号 平成15年3月 『説話と俳諧連歌の室町』改題再収)
63. 「「間の山」考―歌比丘尼の間の山節―」 (『東海学園 言語・	(『東海学園 言語・文学・
文学・文化』6号 平成19年3月 『説話と俳諧連歌の室町』再収)	50. 「前句付けの遊びと昔話―幽霊済度譚の形成―」
62. 「神宮連歌壇の北野天神説話」 (『東海学園 言語・	所収 平成15年1月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』改題再収)
(『東海近世』16号 平成19年3月 『西行と伊勢の白大夫』再収)	(『伝承文化の展望―日本の民俗・古典・芸能』(三弥井書店)
61.「勢州の名取媼熊野参詣説話―「横滝寺旧記」をめぐって―」	49.「鮭の神の説話伝承―乾鮭の宮伝説と鮭の大助―」
文化』 5号 平成18年3月 『説話と俳諧連歌の室町』改題再収)	学研究』52号 平成14年4月 『説話と俳諧連歌の室町』改題再収)
(『東海学園 言語・文学・	48.「難波津に咲くやこの花―俳諧の遊び―」 (『伝承文
60. 「伊勢御師の連歌話―かさぬ草紙・醒睡笑・蟄居紀談―」	(『枯野』12号 平成14年3月 『説話と俳諧連歌の室町』再収)
近世』15号 平成17年12月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』再収)	47.「僧苑の笑話」
59. 「乾鮭の霊社―丹波の杵の宮伝説―」 (『東海	化』1号 平成13年12月 『説話と俳諧連歌の室町』改題改稿再収)
(『中世文学』50号 平成17年6月『説話と俳諧連歌の室町』再収)	(『東海学園 言語・文学・文
8.「室町の笑い―謡文化のかたち―」	46.「おどけ者の歌―「をこ」の口承説話―」
文化』4号 平成17年3月『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』再収)	(『東海学園国語国文』 59号 平成13年3月)
57. 「近江醒ヶ井の泡子塚伝説」 (『東海学園 言語・文学・	45.「連歌の遊び―寄合語をめぐって―」
世』14号 平成16年12月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』再収)	(『東海学園国語国文』 58号 平成12年12月)
56. 「白菊の琵琶―琵琶塚伝説と清音寺縁起―」 (『東海近	44. 「鼓の秀句―西行の歌修行譚―」
所収 平成16年8月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』改題再収)	(『枯野』11号 平成12年11月)
10巻『口頭伝承〈ヨミ・カタリ・ハナシ〉の世界』(三弥井書店)	43.「夕霧の玉章説話―諸分の大尽世之介―」
55. 「近世の語り物―奥浄瑠璃の生成―」(『講座日本の伝承文学』第	(『日本の民話を学ぶ人のために』(世界思想社)平成12年10月)
	Art MINDELLANDE I man

「十五夜の歌―餅と芋の昔話―」

(『口承文芸研究』27号 平成16年3月)

67

「伊勢の白太夫伝説―御師と伊勢比丘尼―

所収 平成19年12月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』改題再収

研究業績一覧

78

68 「度会春彦本縁―度会氏の祖先祭祀― 文学・文化』7号 平成20年3月 『西行と伊勢の白大夫』再収 (『東海近世』17号 平成20年3月 『西行と伊勢の白大夫』再収 (『東海学園

69 「西行谷の比丘尼―伊勢比丘尼と西行伝説―」

70 「鳳来山と浄瑠璃姫伝説―三河の浄瑠璃姫伝承―」 研究成果報告書』 平成20年3月 『西行と伊勢の白大夫』再収 補助金基盤研究(B)(1)西行伝説の説話・伝承学的研究(第三次) 『平成16~19年度科研費

71.「「うるか問答」の遊びと民間説話―鮎の狂歌話―」 (『口承文芸研究』32号 平成20年3月)

《『東海学園 言語·文学

72 「西行法師とうるか問答―鮎の狂歌話― 文化』8号 平成21年3月 『説話と俳諧連歌の室町』改題再収

73 「宿神としての妙見童女像―度会氏の祖先祭祀と胞衣の祀り―」 (『語りの講座 昔話への誘い』(三弥井書店)所収 平成21年8月

74 「西行谷神照寺の遁世説話」 文学・文化』9号 平成22年3月 『西行と伊勢の白大夫』再収 (『東海学園 言語

『西行学』1号 平成22年8月 『西行と伊勢の白大夫』再収

75 「西行草庵の地 釈と鑑賞』76巻3号 平成23年3月 『西行と伊勢の白大夫』再収 (『国文学 解

76 「伊勢の白大夫伝説―山田の御頭神事と陰陽師―

16号人文科学研究編 平成23年3月 『西行と伊勢の白大夫』再収 (『東海学園大学研究紀要』

77 「『月庵睡醒記』の詠歌物語―歌話と故実」

(三弥井書店)所収 平成24年2月 『説話と俳諧連歌の室町』再収 (『中世知の再生―『月庵睡醒記』論考と索引』

「「くれはとり」と「女郎花」の説話伝承―西鶴の因果話―」

文化』12号 平成25年3月 『鮭の神・立烏帽子・歌比丘尼』再収 (『東海学園 言語・文学・

80

「那須野をゆく西行と芭蕉―那須野の伝説―」

「下京夕顔の宿 成25年11月 『説話と俳諧連歌の室町』同題全面改稿のうえ再収 《『西行学』4号 平成25年8月) 『秋雪』『枯野』最終号 平

81

82 「伊勢金剛寺の霊石伝説―白大夫の袂石―」

19号人文科学研究編 平成26年3月 『西行と伊勢の白大夫』再収 (『東海学園大学研究紀要』

83 「和尚と小僧」譚の源流 (『語りの口座 昔話入門』(三弥井書店)所収 平成26年3月)

85 84 「「一夜白髪」のこころ」 「抄物から咄・雑談へ―歌語をめぐる雑談 文学・文化』13号 平成26年3月 『説話と俳諧連歌の室町』再収 (『東海学園 言語

86 海近世』22号 「餅連歌の説話伝承―座頭と笑話―」 文学研究』63号 平成26年8月 『説話と俳諧連歌の室町』再収) 平成26年7月 『説話と俳諧連歌の室町』再収

87 「熱田の西行」 (『西行学』6号 平成26年8月 『西行と伊勢の白大夫』再収)

88 「神事と連歌説話―北野天神の歌詰橋説話―」

(『説話と俳諧連歌の室町』書き下ろし 平成28年8月)

「伊勢の「歌占人」―産土の神祭と陰陽師―」 (『東海学園 言語・文学・文化』16号 平成29年3月)

「説話と俳諧の連歌―天神法楽のこころ―」

90

89

(『伝承文学研究』6号 平成29年8月)

共同研究

1.

西行伝説の説話・伝承学的研究 平成10~12年度科研費補助金基盤研究(C)(1)研究成果報告書 平成13年3月

2. 西行伝説の説話・伝承学的研究(第二次) 平成13~15年度科研費補助金基盤研究(B)(1)研究成果報告書 資料紹介「滋賀県米原町醒ヶ井周辺の西行伝承資料 平成16年3月

3 西行伝説の説話・伝承学的研究(第三次) 平成16~19年度科研費補助金基盤研究(B)(1)研究成果報告書 注釈(共同研究 平成20年3月

注釈(共同研究)

- 『月庵酔醒記』(上)
- 2 『月庵酔醒記』(中)

『月庵酔醒記』(下)

(三弥井書店 平成19年4月

(三弥井書店 (三弥井書店 平成22年5月 平成20年9月

翻刻(共同研究

「校本詩学大成抄(一)」

《『東海学園 言語・文学・文化』12号 平成25年3月)

「校本詩学大成抄(二)」 《『東海学園 言語·文学·文化』13号 平成26年3月)

「校本詩学大成抄(三)」 《『東海学園 言語・文学・文化』4号 平成27年3月)

「校本詩学大成抄(四)」 《『東海学園 言語・文学・文化』15号 平成28年3月)

「校本詩学大成抄(五)」

(『東海学園 言語・文学・文化』16号 平成29年3月)

5.

野村純一著『江戸東京の噂話―「こんな晩」から「口裂け女」 でー』(大修館書店) (『英語教育』(大修館書店)平成17年8月) ま

伊藤龍平著『江戸の俳諧説話』(翰林書房)

松本孝三著『民間説話伝承の研究』(三弥井書店) 《『口承文芸研究』 31号 平成20年3月

3.

2.

(『論究日本文学』91号 平成21年12月)

14

その他

1.「アヤコトバの魅力」

(『昔話―研究と資料―』32号巻頭のことば 平成16年7月)

2. 「古くて新しい課題」

(『昔話―研究と資料―』33号巻頭のことば

平成17年7月)

3. 「犬筑波集の魅力①―梅法師―

(俳誌『船団―俳句と批評―』 62号 平成16年9月

「犬筑波集の魅力②―宗鑑法師―」

(俳誌『船団―俳句と批評―』 63号 平成16年12月

5. 「犬筑波集の魅力③―幽霊の一句―」

(俳誌『船団―俳句と批評―』 64号 平成17年3月

6. 「犬筑波集の魅力④ -西行の無理問答―

『船団―俳句と批評―』 65 号 平成17年6月

「犬筑波集の魅力⑤-犬のような法師―

『船団―俳句と批評―』 66 号

8. 「犬筑波集の魅力⑥―旅する宗祇―」

『船団ー -俳句と批評-』 67 号 平成17年12月)

9. 「犬筑波集の魅力⑦―うるか問答―」

(俳誌『船団-―俳句と批評―』 68号 平成18年3月)

10 「犬筑波集の魅力®--猿丸と小式部―」

『船団―俳句と批評 69号 平成18年6月

11 「犬筑波集の魅力⑨ -あかがりの歌―」

「犬筑波集の魅力⑩ -式部の墓―」

『船団―俳句と批評―』

70号

平成18年9月

12

『船団―俳句と批評―』

71号

平成18年12月

「犬筑波集の魅力⑪ー -和泉式部の幽霊--

13

「犬筑波集の魅力⑫―洟を垂らす藤若―」 (俳誌 『船団―俳句と批評―』 72号 平成19年3月)

平成17年9月)

研究業績一覧

15. 「犬筑波集の魅力③ 『船団―俳句と批評―』73号 -ずいきの涙―」 平成19年6月)

16 (俳誌『船団―俳句と批評―』74号 平成19年9月)

「犬筑波集の魅力⑭ー (俳誌『船団―俳句と批評―』 -さいふの天神―」 75 号 平成19年12月)

「犬筑波集の魅力⑮―五条の遊女―」

17

(俳誌『船団―俳句と批評―』76号 平成20年3月

「犬筑波集の魅力⑯―夕顔の宿―」 (俳誌『船団―俳句と批評―』 77 号 平成20年6月

(俳誌『船団―俳句と批評―』 78 号 平成20年9月)

「犬筑波集の魅力⑱―愛宕山の雷神―」 (俳誌『船団―俳句と批評―』 79号 平成20年12月)

「犬筑波集の魅力⑩―清水坂の弦売り―」 (俳誌『船団―俳句と批評―』 80号 平成21年3月)

22

21

「犬筑波集の魅力⑫―六道の辻―」

20

19

「犬筑波集の魅力⑪―連歌毘沙門―」

18

(俳誌『船団―俳句と批評―』 81号 平成21年6月)

(俳誌『船団―俳句と批評―』82号 平成21年9月)

24

23

「犬筑波集の魅力21―逢坂の関―」

「犬筑波集の魅力22―牛若と弁慶―」 (俳誌『船団―俳句と批評―』83号 平成21年12月)

「犬筑波集の魅力23―三輪山の神杉―

(俳誌『船団―俳句と批評―』 84号 平成22年3月)

「犬筑波集の魅力24―まじないの歌―

『船団―俳句と批評―』85号 平成22年6月)

「犬筑波集の魅力25-機織る女-」 『船団―俳句と批評―』8号 平成22年9月)

「犬筑波集の魅力26 人麿と蛙ー」

28

27

26

(俳誌『船団―俳句と批評―』87号 平成22年12月(止))

「美濃部先生と伝承文学研究会」

「西行学会シンポジウム「伊勢と西行」総括」 (『伝承文学研究』60号 平成23年8月)

30

31 《『西行学』6号 平成27年8月)

講演会「丹波の伝説を歩く」

(『亀岡市文化資料館報』10号 平成29年3月)